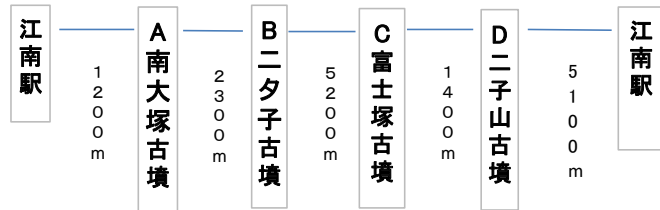


江南市 歴史ガイド短時間コース (古墳コース)

江南市歴史ガイドの会
連絡先: 江南市観光協会事務局
(江南市役所商工観光課内)
TEL: 0587-54-1111

1. 移動ルート/ 総移動総距離: 約 15.2 km (江南駅発着の場合)



出典: 郷土資料「江南」第6版(発行 江南市教育委員会)

備考: 右に示す案内図は、スペースの関係上、概念的に位置を示すのみです。詳細位置は、自家用車のナビシステム又は、スマホの地図機能等を活用して下さい。尚、移動距離は地図上の測定値であり、ルートにより異なります。

A 南大塚古墳 江南市宮後町南王塚193付近

南大塚の地に明治から大正初期頃まで前方後円墳があった。築造時期は、出土した鏡の製作年代から概ね5世紀中頃から後半と考えられる。古老の記憶によれば、後円部の直径は約20m、高さは3m程で、前方部は崩れ子供遊び場であったという。

1909(明治42年)に現在の古知野東小学校建設の際に土盛りのために古墳の土を採ったところ下に示す神獣形鏡が出土した。直径14.9cmで、裏面にはネコ顔状の獣の模様がある。現在は、東京国立博物館に保管されている。



神獣形鏡
(しんじゅうけいきょう)

C 富士塚古墳 江南市南山町東

6世紀頃の古墳で、前方後円墳であったと考えられる。長さは約30m、高さは約6.5mで、原形を留めていない。頂上には富士塚の碑(市指定文化財)が建ち、周囲の畑から出土品が多く発見されている。小牧長久手の戦いの折に徳川家康と織田信雄(のぶかつ)が、ここに登って戦況を視察したと言われている。この塚には、生駒家の由緒と武勲を伝える文章を刻んだ碑がある。



富士塚古墳

B ニタ子(ふたご)古墳 江南市和田町天神

6世紀頃の古墳で、前方後円墳であったと考えられる。現在、前方部は開墾され、後円部は残っていて、その上にニタ子薬師がまつてある。中段に薬石(くすりいし)という大石があり、石室に使ったものである。



ニタ子古墳

D 二子山古墳 江南市曾本町二子136

6世紀中頃の前方後円墳で、原形を比較的良好に留めた市内で最も大きい古墳である。古墳の規模は、長さは約60m、後円部の直径は35m、高さは7mあり、前方部の幅は52m、高さは4.3mである。1849(嘉永2年)と1887(明治20年)に発掘されて、明治に出土した馬具は、東京国立博物館に保管されている。



二子山古墳

